

第12回

脱炭素 チャレンジカップ 2022

報告書





脱炭素チャレンジカップ

近年の気象の激変や災害の頻発などの状況を踏まえ、気候変動対策をより加速化するために、2020年に「低炭素杯」から名称を改め、第3回目となる「脱炭素チャレンジカップ2022」を2022年2月15日に開催いたしました。

新型コロナウイルス感染症の現状を鑑み、参加者およびスタッフの健康・安全面を考慮して、新たな形として、オンラインと会場でのハイブリッドでの開催となりました。

本大会は、多種多様な団体（学校、企業、自治体、NPO など）が日々取り組まれている脱炭素社会の構築につながる活動を募集し、最終選考で自身の活動を発表することによって、取組のノウハウや情報を共有・発信し、さらなる連携や意欲を創出することで、豊かな脱炭素社会の未来を創造する「場」となることを目指しています。

「脱炭素チャレンジカップ2022」にエントリーした、286団体（アイデア賞含む）の中から選ばれた28団体がステージ上のプレゼンテーション審査に臨まれ、環境大臣賞や文部科学大臣賞などの各賞を決定いたしました。開催にあたっては本事業に賛同していただいた企業・団体の皆様からのご支援・ご協力をいただきました。

SDGs達成に向けて貢献



「脱炭素チャレンジカップは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。」

世界で気候変動問題が年々深刻化する中、世界の平均気温の上昇を産業革命前の1.5℃未満に抑え、脱炭素社会を構築することを我々は目指しています。

日本においても脱炭素社会の実現に向けて、社会全体での機運の醸成や効果的な対策への取組を強力に進めていく必要があります。

このような状況の中、「脱炭素チャレンジカップ」では、様々なパートナーと出会う「場」を提供することによって、地域活動の活性化とネットワークの構築が促進され、あらゆる主体の連携が深まり、脱炭素かつ持続可能な地域づくりへの加速化が図られることを期待しています。

脱炭素チャレンジカップとSDGs

